

「食の分岐点」

日本はじめ世界の食の状況は今、さまざまな分岐点、十字路に差しかかっている。

古今東西、人類が築きあげてきた食のシステム……制度・経済・技術・産業構造から、習慣・マナー・嗜好に至るまでが、まさに存続の危機に瀕し、イノベーションの波に洗われ、変革を迫られている。

この分岐点に、立ち止まり続けるのはきわめて難しい。だとすれば、進むべきか退くべきか。向きを変えるなら、左右どちらか。

そして岐路の選択は専門家にまかせるのではなく、われわれ全員が舵取りをになうべきではないか。

まず本特集で、進むべき指針やオピニオンに耳を傾け、食文化の潮流のせめぎあいをつぶさに見つめたい。



特集アドバイザー／藤本憲一

(武庫川女子大学教授)



COVER

夏の青空のもと、さまざまな方向を指す標識

写真：©Orion/amanaimages